

NEWS RELEASE

報道関係各位

2025 年 3 月 4 日

Meiji Seika ファルマによる OsivaxSAS への出資に関するお知らせ

明治ホールディングスの医薬品事業会社である Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎）と KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里敏秋）は、12 月 27 日付で Meiji Seika ファルマが Osivax SAS（本社：フランス・リヨン、最高経営責任者 兼 共同創設者：Alexandre Le Vert、以下「オシバックス」）に対して出資を行いましたのでお知らせします。

オシバックスは、ユニバーサルインフルエンザワクチン※候補群の開発を進めています。同ワクチン候補群は、オシバックスが有する新規の自己ナノ粒子化基盤技術に基づき作出され、広範なインフルエンザウイルスに有効なワクチンの実現を目指しています。現在、リードプログラムである OVX836 は第Ⅱ相臨床試験段階にあり、これまでに実施された臨床試験において 1200 人以上が参加し評価された実績の中で有望なデータが得られています。

KMバイオロジクスは、オシバックスが開発を進める同ワクチン候補群について、日本における開発、製造および販売の独占的ライセンスを行使するためのオプション契約を締結しています。

本出資により、オシバックスの研究開発が加速するとともに、Meiji Seika ファルマ、KMバイオロジクスとオシバックスの協力関係がより強固なものとなります。

Meiji Seika ファルマと KMバイオロジクスは、ワクチン市場の多様化するニーズに対応することで、ワクチン接種率のさらなる向上および疾病負担の低減につなげ、公衆衛生の向上に貢献してまいります。

※ ユニバーサルインフルエンザワクチンは、毎年流行を引き起こす季節性インフルエンザウイルスに加えて、突発的に抗原性が大きく変化し世界的大流行を引き起こす恐れのあるパンデミックインフルエンザウイルスを含む、広範なインフルエンザウイルスに対して有効なワクチンです。

【オシバックスについて】

Osivax SAS（本社：フランス・リヨン）は、2017 年に設立され、独自の自己ナノ粒子化基盤技術に基づき、変異が生じやすいウイルスに対して広範かつ高い有効性を示す革新的なユニバーサルワクチンの開発を進めているバイオテック企業です。

詳細は Web サイトをご覧ください。<https://osivax.com/>

以上